

公開セミナー

五木村の 焼畑と 地域振興

五木村での焼畑火入れ／2024年8月

2024年

12月21日(土) 13:30~16:30

[会場] 熊本博物館 講堂

〒860-0007 熊本市中心区古京町3-2 TEL 096-324-3500

[定員] 30名(要申込み)

[参加費] 無料 ※ただし別途熊本博物館入場料が必要となります
(大人400円／高校生・大学生300円／小学生200円)



ヒエチギリ包丁



五木赤大根



タイマツによる
火入れ

近年、熊本県五木村では、かつてこの地で広く行われていた焼畑を復活させ関連する文化を伝承する動きがあります。地元の中学生、林業関係者、そして外部の有識者などが参加して、実際に焼畑を経験し、その特性を体感することから地域の未来を皆で考える試みでもあります。

このセミナーでは、五木村の焼畑の歴史を学び、焼畑とはどのようなものか、どのような文化や産業が関わってきて、また今後、どのような地域振興ができるのか、村の人、県の関係者、研究者とともに考えます。

問合せ
申込み先

五木村歴史文化交流館
ヒストリアテラス五木谷

〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲2672番地58

Tel. 0966-37-2121 Fax. 0966-37-2888

[共催] 国立民族学博物館、五木村教育委員会 [協力] 熊本博物館

公開
セミナー

五木村の 焼畑と地域振興

近年、熊本県五木村では、かつてこの地で広く行われていた焼畑を復活させ関連する文化を伝承する動きがあります。地元の中学生、林業関係者、そして外部の有識者などが参加して、実際に焼畑を経験し、その特性を体感することから地域の未来を皆で考える試みでもあります。

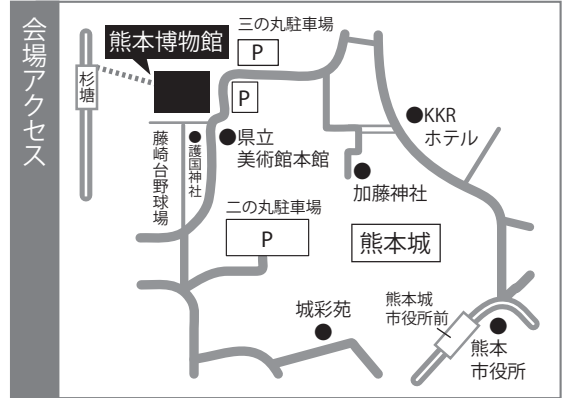
このセミナーでは、五木村の焼畑の歴史を学び、焼畑とはどのようなものか、どのような文化や産業が関わってきて、また今後、どのような地域振興ができるのか、村の人、県の関係者、研究者とともに考えます。

日時 2024年12月21日(土) 13:30~16:30

会場 熊本博物館 講堂
〒860-0007 熊本市中央区古京町3-2
TEL 096-324-3500

定員 30名 (要申込み)

参加費 無料
※ただし別途熊本博物館入場料が必要となります
(大人400円/高校生・大学生300円/小学生200円)



○熊本市電:「杉塘」下車、徒歩5分
○バス:「桜町バスターミナル」または「市役所前」下車、徒歩15分
○熊本城周遊バス(しろめぐりん):「博物館・旧細川刑部邸前」下車すぐ
○車:博物館に駐車場はありません。三の丸駐車場等をご利用下さい。

プログラム

13:30-13:35	開会の挨拶	
13:35-14:00	九州山地の村の過去・現在・未来	池谷 和信 (国立民族学博物館)
14:00-14:25	博物館資料から考える五木村の焼畑文化	湯川 洋史 (熊本博物館)
14:25-14:50	五木村での森林と焼畑実践 (仮題)	園田 久 (五木村林業活性化協議会)
14:50-15:15	“緑の流域治水” ~森林の利用と地域振興~	中川 太介 (熊本県企画振興部)
15:15-15:40	休憩	
15:40-15:50	コメント:川野 和昭 (南方民俗文化研究所)	
15:50-16:25	全体討論	
16:25-16:30	閉会の挨拶	

報告者



池谷 和信
国立民族学博物館 名誉教授
専門は民族学・地理学。これまで東北地方の山菜採りへの弟子入りから始めて、日本の山村での森と人とのつながり方を研究してきた。最近では、南米のアマゾンで焼畑を調査して、食と農の未来における焼畑の必要性を感じている。



湯川 洋史
熊本市立熊本博物館 学芸員(民俗学)
専門は日本民俗学。山口県出身。國學院大學文学部卒業。熊本大学大学院社会文化科学研究科修了。山口市歴史民俗資料館嘱託職員を経て、福井県立若狭歴史博物館学芸員、現職。学部、院時代に九州山地を歩き、山の暮らしを聞き書きする。現在は熊本博物館収蔵の五木村の民具を整理・研究中。



園田 久
園田農林株式会社 代表取締役
五木村林業活性化協議会 代表
1962年五木村葛ノ八重生まれ。村外で就職後帰郷し、1988年五木村森林組合へ入組。2008年独立、2014年園田農林(株)を設立。農林業の傍ら2021年より焼畑を始め、地元中学校と連携し五木赤大根、小豆、そばを生産。商品化に取り組む。



中川 太介
熊本県企画振興部球磨川流域復興局 政策監
1994年熊本県入庁。2022年度、球磨地域振興局次長。2023年度、球磨川流域の復旧・復興に特化した組織である球磨川流域復興局の政策監に着任。令和2年7月豪雨からの創造的復興に向けた企画調整や新たな流水型ダムを含む「緑の流域治水」の推進、五木村・相良村の振興などに取り組む。

コメントーター



川野 和昭
南方民俗文化研究所 主宰
元鹿児島県歴史・美術センター黎明館 学芸課長
専門は日本民俗学。鹿児島県出身。これまで県内の山村や離島を中心に九州の椎葉や米良ほか、さらにはラオスにいたるまで焼畑を中心とした暮らしを学んできた。森を食べて育てる持続可能な農法が焼畑であると考えている。

問合せ
申込み先

五木村歴史文化交流館
ヒストリアテラス五木谷
〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲2672番地58
Tel. 0966-37-2121
Fax. 0966-37-2888